

記入例④軽食（利用人数）

工事着手前に提出して下さい。

別記第5号様式（第4条関係）

除害施設設置計画届書

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

提出日を記入してください。

函館市公営企業管理者企業局長 様

住 所 函館市〇〇町〇番〇号

届出者 氏 名 株式会社〇〇〇〇
代表取締役 〇〇 〇〇

電 話 〇〇局〇〇〇〇番

次のとおり除害施設の設置計画を届け出ます。

1 設 置 場 所	函館市 町 丁目 (番地) 号 番	
2 計 画 の 種 別	<input checked="" type="radio"/> 新設 <input type="radio"/> 増設 <input type="radio"/> 改築	
3 使 用 者	住 所 (所在地)	函館市 町 丁目 (番地) 号 番
	氏 名 (名 称)	〇〇 〇〇 (〇〇〇〇〇店) 店舗の名称が決まっている場合は記載して下さい。
4 工 事 施 行 業 者	住 所 (所在地)	函館市 町 丁目 (番地) 号 番
	氏 名 (名 称)	
5 工 事 期 間	着 手 予 定 年 月 日	〇〇〇〇年〇〇月〇〇日
	完 成 予 定 年 月 日	〇〇〇〇年〇〇月〇〇日
6 除 害 施 設 の 管 理 責 任 者 の 氏 名	店 長 (〇〇 〇〇) 届出者、店舗またはちゅう房の責任者（店長等）。	
7 製 品 名	軽食	
8 月 間 生 産 量	(例) 50食/日 × 25日/月 = 1,250食/月	
9 作 業 時 間	〇〇時〇〇分から〇〇時〇〇分まで ちゅう房の使用時間。	

別紙 1

除害施設の構造

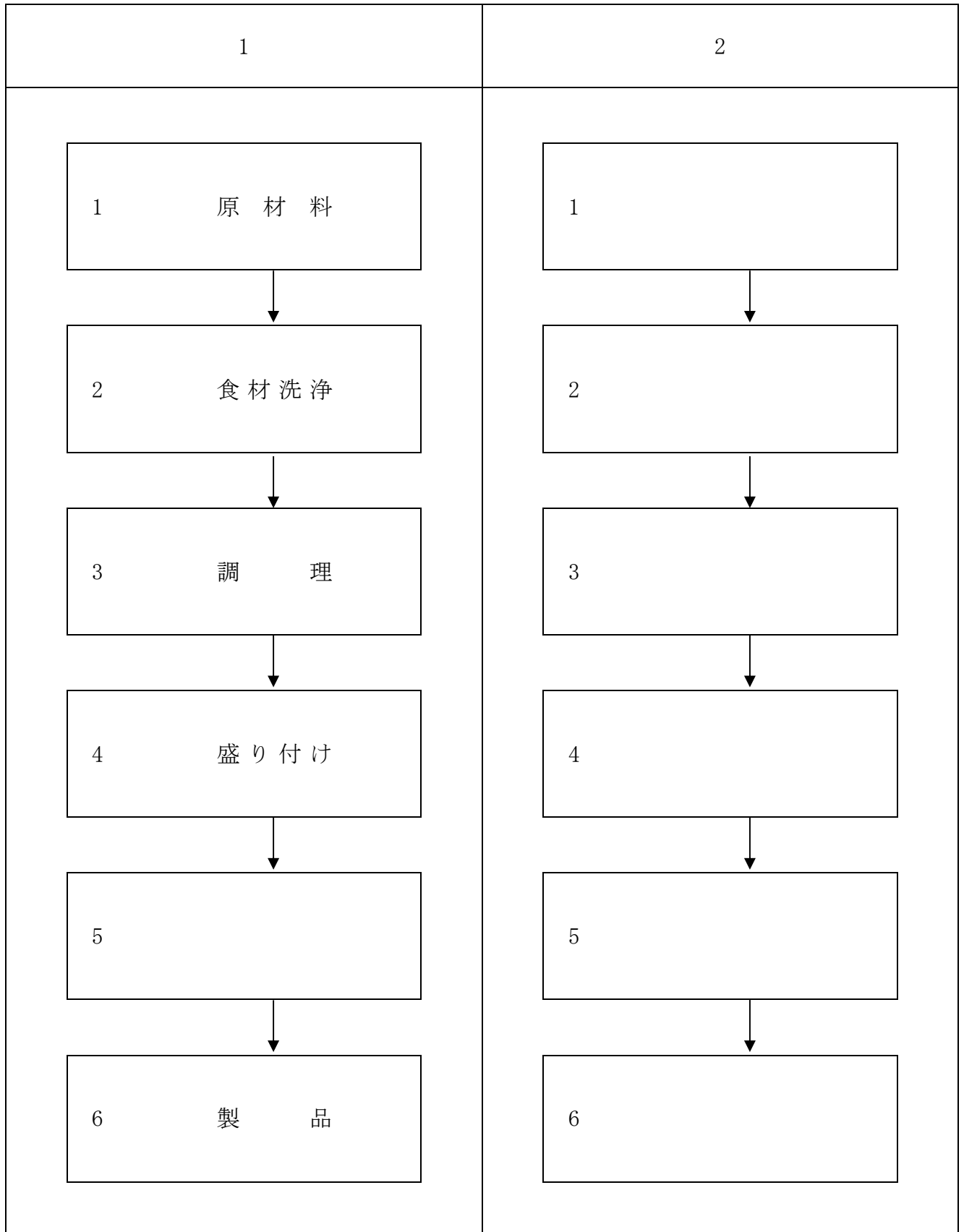
除害施設	No. 1	No.
1 処理方式	浮上分離方式	
2 名称	グリーストラップ	
3 メーカー ・ 型式	(例) 〇〇株式会社 〇-50△△	
4 台数	〇台	
5 材質	(例) FRP	
6 主要寸法 (m)	L 〇〇 × W 〇〇 × H 〇〇	長さ×幅×高さ。 単位はm。
7 処理能力 (m ³ /日)	(例) 37.5 (L/min) = 54 (m ³ /日)	(例) グリーストラップ 実容量 50Lの場合 許容流入流量 50 L×0.75 = 37.5 L/min 処理能力 37.5 L/min = 54 m ³ /日
8 設置図	別紙のとおり	別紙のとおり
9 工事着手 予定年月日	本書 5 工事期間の着手予定年月日と同じ日付になります。 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
10 工事完成 予定年月日	本書 5 工事期間の完成予定何月日と同じ日付になります。 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
11 使用開始 予定年月日	上記 10 工事完成予定年月日以降の日付になります。 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
12 備考	(例) 店舗総床面積 〇〇m ² 延べ利用人数 50人/日	本書 8 月間生産量の1日の食数が利用人数となります。

別紙 2

除害施設の使用の方法

除害施設	N o . 1		N o .													
1 処理方式	浮上分離方式															
2 名 称	グリーストラップ															
3 使用方法	調理排水等の処理															
4 操業工程図	別紙 2 の 1 のとおり		別紙 2 の 1 のとおり													
5 1日当りの使用時間	〇〇時間 (〇〇 : 〇〇 ~ 〇〇 : 〇〇)		本書 9 作業時間と同じ時間になります。													
6 1日当りの原材料等の使用量	別紙 2 の 2 のとおり		別紙 2 の 2 のとおり													
7 汚水の水量 (m ³ /日)	通常		最大		通常	最大										
	2.3		2.8													
8 汚水の水質 (m g / L)	BOD		S S		pH		油分		BOD		S S					
	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	300	360	300	360	7.0	8.0	35	42								
9 備 考	<p>利用人数に基づく選定方法です。 食種軽食の一人あたりの水量は 45L であるため以下の計算となります。 (例) 50 人 × 45 L / 人 × 0.001 = 2.3 m³ / 日</p> <p>一日あたりの利用人数です。</p>															

操 業 工 程 図



別紙 2 の 2

代表的な原材料と概算の使用量を記入してください。

1日当たりの原材料等（消耗資材を含む。）の使用量

原材料等の種類		使用量(kg/日)	用途	備考
1	米類	○kg/日	調理	
2	肉類	○kg/日	調理	
3	野菜類	○kg/日	調理	
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

別紙 3

汚水の処理の方法

1	処理方式	浮上分離方式 <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 20px;">別紙 1 7 処理能力と同じ数値が入ります。</div>								
2	能力 ($m^3 / 日$)	(例) $37.5 (L/min) = 54 (m^3/日)$								
3	構造	別紙図面のとおり								
4	汚水の処理 の系統図	別紙図面のとおり								
5	1日当たりの 薬品類の使用量 (凝集剤, 中和剤 等)									
6	汚水の 水質 (mg/L)	項目	B O D		S S		p H		油分	
			通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
		処理前	300	360	300	360	7.0	8.0	35	42
	処理後	200	240	200	240	7.0	8.0	18	22	
7	処理水の水量 ($m^3 / 日$)	通常	別紙 2 7 汚水の水量と同じ数値になります。 2.3				最大	2.8		
8	発生汚泥等 の処理方法	汚泥等の量 ($m^3 / 月$)	阻集グリースの質量と堆積残渣の質量の合計量になります。選定書からです。 (例) $\Delta\Delta m^3 / 月$ (阻集グリースの質量(kg) \times 30/7 + 堆積残渣の質量(kg) \times 30/30 = $\bigcirc\bigcirc$ kg/月) (($\bigcirc\bigcirc$ kg/月)/1000 = $\Delta\Delta m^3 / 月$)							
	処理の方法	委託処理								
9	工事着手 予定年月日	本書 5 工事期間の着手予定年月日と同じ日付になります。 $\bigcirc\bigcirc\bigcirc\bigcirc$ 年 $\bigcirc\bigcirc$ 月 $\bigcirc\bigcirc$ 日								
10	工事完成 予定年月日	本書 5 工事期間の完成予定年月日と同じ日付になります。 $\bigcirc\bigcirc\bigcirc\bigcirc$ 年 $\bigcirc\bigcirc$ 月 $\bigcirc\bigcirc$ 日								
11	使用開始 予定年月日	別紙 1 11 使用開始予定年月日と同じ日付になります。 $\bigcirc\bigcirc\bigcirc\bigcirc$ 年 $\bigcirc\bigcirc$ 月 $\bigcirc\bigcirc$ 日								
12	備考									

公共ますにおける事業場排水（グリーストラップ排水）と生活排水（トイレ等）を合計した下水の量となります。

(例) 事業場排水 2.3 m³ + 生活排水 1.0 m³ = 3.3 m³

公共ます 1 箇所に汚水を排除する場合です。

通常の 1.2 倍の数値となります。
3.3 m³ × 1.2 = 4.0 m³

別紙 4

下水の量及び水質

排出口		No. 1		No.	
		通常	最大	通常	最大
下水の量 (m ³ /日)		(例) 3.3	(例) 4.0		
1	温度	度	度	度	度
2	アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素含有量				
3	水素イオン濃度 (pH)	水素指数 7.0	水素指数 8.0	水素指数	水素指数
4	生物化学的酸素要求量 (BOD)	200	240		
5	浮遊物質 (SS)	200	240		
6	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (1) 鉱油類含有量				
	(2) 動植物油脂類含有量	18	22		
7	窒素含有量				
8	燐含有量				
9	沃素消費量				
10	カドミウム及びその化合物				
11	シアン化合物				
12	有機燐化合物				
13	鉛及びその化合物				
14	六価クロム化合物				
15	砒素及びその化合物				
16	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物				
17	アルキル水銀化合物				
18	ポリ塩化ビフェニル				
19	トリクロロエチレン				
20	テトラクロロエチレン				
21	ジクロロメタン				
22	四塩化炭素				
23	1, 2-ジクロロエタン				
24	1, 1-ジクロロエチレン				
25	シス-1, 2-ジクロロエチレン				
26	1, 1, 1-トリクロロエタン				
27	1, 1, 2-トリクロロエタン				
28	1, 3-ジクロロプロペン				
29	チウラム				
30	シマジン				
31	チオベンカルブ				
32	ベンゼン				
33	セレン及びその化合物				
34	ほう素及びその化合物				
35	ふっ素及びその化合物				
36	1, 4-ジオキサン				
37	フェノール類				
38	銅及びその化合物				
39	亜鉛及びその化合物				
40	鉄及びその化合物 (溶解性)				
41	マンガン及びその化合物 (溶解性)				
42	クロム及びその化合物				
43	ダイオキシン類	pg/L	pg/L	pg/L	pg/L
摘要		水質については生活排水による汚濁負荷量を除いた数値とする。			

項

目

記入してください。

備考

- この表に掲げる項目の単位は、温度、水素イオン濃度 (pH) およびダイオキシン類以外の項目については、mg/Lとする。
- 「摘要」の欄は、下水の量又は水質の推定の根拠等を記載すること。

別紙 5

公共ます1箇所に汚水を排除する場合は。

別紙4 下水の量と同じ数値となります。

用水及び排水の系統

1	用水及び排水の系統図	別紙図面のとおりに							
	排出口	用 水							
		水道水 (m ³ /日)		地下水 (m ³ /日)		その他() (m ³ /日)		合 計 (m ³ /日)	
		通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
2	No. 1	(例) 3.3	(例) 4.0					(例) 3.3	(例) 4.0
	No.								
	No.								
	No.								
	No.								
	No.								
	No.								
	合 計	(例) 3.3	(例) 4.0					(例) 3.3	(例) 4.0